

66 依るに此要求に應ずること何等困難ならず。

猶製鋼業者の或者は其工場に第三の合金を加ふるの不統一を唱ふるも是れ一の偏見たるへく其工場に於て硅素滿俺の一定の割合を確立したる曉は唯一の合金を以て二種の用をなさしめ大に作業を簡單ならしむるなり(終)

獨逸鐵鋼業の近況 (承前)

其一三 (The Iron & Coal Trades Review. July 25, 1919.)

鐵 鋼

K O 生

銑鐵企業組合は尙生産物の價格を平均三五馬克騰貴せしめたり、即ちヘマタイト、四六〇、五〇馬克、一號鑄物用銑、四三九馬克、三號鑄物用銑、四三八馬克、ジールランド鋼銑、三九五馬克、鏡鐵、四三二馬克、ルクセンブルグ鑄物用銑、三九一、五〇馬克等なり。

鋼企業組合刷新問題は其の後商議、進行し、目下の計畫は一九〇四年設立せられたる當時の形式と大同小異なり、企業組合は第一ライン、ウエストフアリアに於ける工場團を收容し、而してパツリアに於けるマキシミアン製鐵所並にハノーバーなるパイン壓延工場等を包含し、漸次ジョーデ、マリエン製鐵所、バン、デア、チイペン製鋼所及ヒサキソニーなるドールン鑄物鋼會社等を編入せしむる組織なり。ローレン工作所(ロムバツバ並にローレン製鐵所)は最早之れに加入せざるへし、デ、ウエンデル工作所は開戦と同時に企業組合より徹退せり、又ザールに於ける工作所(ノインキルヘンのスツーム兄弟會社、ロツホリング鐵鋼工作所及ヒデイリングン工作所)等は假令後日協商せらるるとも最早該企業組合には直接關係せざるへし。以上の計畫はラウラ製鐵所、フリードリツヒ製鐵所並にビスマーク製鐵

所等に關係を及ぼせり。ブルバツハ、アイヒ及ヒデューデリンゲン(ルクセンブルグ)及ヒ白耳義國團は該企業組合と最早關係せざるへし、併しゲルシエンキルヘン會社に屬するルクセンブルグ及ヒエイクスラ、チャペレーに於ける工作所讓與に就ては未だ決定するに至らざるなり。又ジールランドに於ける工作所即ちシャイロットン製鐵所、ブリーマー製鐵所及ヒウエツラーに於けるブデラス工作所と合同せるガイスイデー工作所並にフリードリツヒ製鐵所等は企業組合に依りて收容せられんことを欲せり。

前大藏大臣ウイセル氏の餘儀なく辭職せるは所謂「組織的工業の結合」と唱へらるゝ時に當り、彼の特殊なる計畫は目下凡へて獨逸工業か社會主義化せるを以て遂に内閣より排斥を受けたるに依るなり。現大臣は鐵鋼工業に順應せしめんか爲め製造業者、商人及ヒ需要者等より成立せる約十六の組合を創設して具體的に其細目を制定せり。此成功者は即ちロバート、シュミット氏にして全くウイセル案の正反對に出てたるものなり。最近大藏省の會議に於て鐵鋼業代表者は輸出部に關する計畫を提議せり、之は嘗てウイセル案の否決と共に殆ど忘却せられたるものなり、一方に於てヴェラインなる鐵鋼業者の會議に於ては白耳義及ヒ佛蘭西に於て蹂躪せられたる地方の再興に關して工業協同問題及ヒ通商團の組成問題等に就て協議せり。

鐵鋼の生産

鐵鋼生産組合は五月に於ける鐵鋼生産額に就て僅少の増加せるを報告せり、之は石炭坑夫ストライキの鎮靜及ヒ鐵鑛供給の増加等に因るものなり。最近年の年初五ヶ月間に於ける銑鐵生産額は左の如し。

年	一月	二月	三月	四月	五月
一九一四年	一、五六六、五〇五	一、四四五、四一一	一、〇八二、七九七	一、〇八二、七九七	一、〇八二、七九七
一九一七年	一、〇八二、七九七	九四三、五四七	九三三、五七〇	九三三、五七〇	九三三、五七〇
一九一八年	一、〇八二、七九七	八九二、七八八	九三三、五七〇	九三三、五七〇	九三三、五七〇
一九一九年	一、〇八二、七九七	四六九、二〇九	九三三、五七〇	九三三、五七〇	九三三、五七〇

月	一、一〇四、六五三	一、〇三九、〇九二	五四五、九三九
三 月	一、一〇四、六五三	一、〇三九、〇九二	五四五、九三九
四 月	一、五三四、四二九	一、一三一、六二〇	四三五、二二四
五 月	一、六〇七、一九三	一、一九八、一七一	五二四、九八六
		一、一八四、七九四	

五月に於ける鋼の生産額は合計五九八、三七七噸にして、四月は四二六、九一〇噸、一月は五七四、一二一噸なりき。又壓延生産物は五月に於て五〇七、〇六三噸にして、四月は三六五、四三七噸なりき。

其 一四 (The Iron & Coal Trades Review, Aug. 1, 1919.)

鐵 鋼

ストックホルムよりの情報に據れば獨逸製鐵業者は鐵鑛供給に關して瑞典鐵鑛生産業者と新協定を締結せり、此の協定に據れば獨逸は一九二〇年七月一日より向ふ四ヶ年間の支拂契約にて從來の輸送分を加算して未済負債を支拂ふ計畫なりと云ふ。瑞典に於ける鑛山所有者は獨逸貨幣、馬克相場下落の爲めに從來の契約を遂行するを拒絶せり、前記の協定は現金換算にして之等の契約價格を著しく増加せしめたり。

白耳義及シルクセンブルグよりの情報に據れば獨逸三號鑄物用銑は三〇〇馬克の價格に於てリ、グ地方の各商會に供給せられたり、白耳義に於ける停車場より汽車賃無料なり、之を白耳義交易相場に換算すれば一四五法の差となるなり、之に反して白耳義三號鑄物用銑の價格は二一五馬克なり、而して獨逸内國に於ける相場は四三八馬克なり。エツセンに於ける銑鐵企業組合調査部は斯る處理に關しては何事も徹底的に語る所なかりき。

七月二十三日ワイマー國民議會に於て首相パウエル氏は高壓力並に水力電氣作業五、〇〇〇キロワット以上を有する工場を國有電氣事業となすの急務なる議案提出の通告をなせり。又褐炭工業及び殘餘の鐵鑛工業は近き將來に於て社會的に企圖せらるへし。

七月二十四日協議せられたる鋼企業組合會議は八月末迄一時延期せられたり。ポトレンに於ける工作所並にザール地方の工場は既に企業組合より撤退せるを以て最早互に聯絡を保つことは不可能なるへしと觀測せらるゝなり。加之ライン及びウエストフアリヤに於ける有力なる工場は其の現在の形に於ける企業組合の繼續に反對せり。畢竟ライン及びウエストフアリヤ地方に於ける工場は其の現所信は鋼棒企業組合の基礎の上に前者と全く關係なきものを組成せんとするものなるへし。是に依りて八月一日より半成鋼、シエープス、鐵道材料等種々なる産物を彼等任意の方法に於て處理せられたり。

鐵鋼業代表者は最近伯林に於ける大藏省にて商人、需要者並に従業員等と會合して鐵鋼通商上外國通商局設置案を提議せり。代表委員は官省と連絡せる通商局條例を制定せり。

ルクセンブルグ議會はゲルシエンキルヘン鑛山會社所屬のグラント、ダツチイ工作所賣却に關して政府に委任すべきことを決議せり。政府は其の利益二五パーセント以上を收得すべき條件なりと云ふ。

デュツセルドルフに於けるハニール及びレツグ商會はギエテホーフヌング製鐵所を領有するごとくなれり。該製鐵所は主として造船用材の作業をなし、職工一、五〇〇人を使用せり。

機械工具製造業組合の報告に據れば、一九一四年の生産額は九五〇、〇〇〇、〇〇〇馬克にして、ヒンダーベルグ案の施行せられし、一九一七年に於ては一、七〇〇、〇〇〇、〇〇〇馬克に上れり。機械工具市場は長き中絶の後を受け僅少の進歩を見たるのみにて再び開始せられたり。輸出貿易及び一般外國購買者に對しては従前の關係を特に容易く回復する處置を取るへしと云ふ。

會社近信

過去二箇年に於ける各會社の財政狀態は次表の如し。

會社名

純益

普通株に於ける配當歩合

會社名	一九一七年	一九一八年	普通株に於ける配當歩合
デヨセフ、ラスゲバー會社	二三、〇〇〇	二七、〇〇〇	一〇%
ノイメーヤー製鐵會社	四三、〇〇〇	三九、〇〇〇	六
伯林ルードウイツグ會社	二二一、〇〇〇	一二九、〇〇〇	三三
デユツセルドルフ製鐵所	四一、〇〇〇	五、〇〇〇	二〇
シユバート機械會社	一四九、〇〇〇	六五、〇〇〇	三〇
ノイシユタツト萬國機械製造會社	一一、〇〇〇	八、〇〇〇	八
ドルトムンド西獨逸爆藥會社	一九、〇〇〇	一四、〇〇〇	一六
ウエストフアリア機械製作所	—	—	二〇
獨逸聯邦ニツケル工作所	一六八、〇〇〇	一一七、〇〇〇	三〇
ホベツク爆藥會社	五五、〇〇〇	二二、〇〇〇	六
テラス製鐵會社	三九、〇〇〇	三九、〇〇〇	一一
			一一

其 一五 (The Iron & Coal Trades Review, aug. 8, 1919.)

鐵鋼

大統領バウエル氏は最近ワイマー國民議會に於て演説せるに、平和克復後獨逸は鐵鑛の供給極めて困難となれり、されは政府は其供給の安全を圖らんか爲めに、イルセデー及ひバイン地方の鐵鑛山を國家の領有たらしめんとせり。此演説はやかて此地方に於て作業せるイルセデー製鐵所並にパイン壓延工作會社等をも國家の管理に歸せしむへしと誤解せられたり、併し政府の意向は未だ作業せざる鐵鑛山に關しては會社の租借を許可せざるにあり。此に關して獨逸同盟製鐵業者に於ては委員を選出して調査することゝなれり。デユツセルドルフ會議に於て之を國有たらしむべきか又は他の新鐵鑛山を開發すべきかを討議せり。凡ての製鐵業者は鐵鑛供給に關してはイルセデー會社と多年契約の關係あれとも、現況に於ては之を國家の領有たらしめんことを希望せり。

鋼企業組合紛擾問題の解決は至難なり。然れともライン鋼製作所、タイセン商會及び其他大なる工
 作所に於ては販賣並に價格に關する行動の自由を有することを主張せり。之に依りてライン鋼製作
 所は其生産物の輸出に就きて既にコログニーのオットー、ウオルフ商會社に委託せり。自由の要求
 に對する理由に因り企業組合のと協定價格との間に於ては多少の差異を免れず、而して仲買人に依
 りて實際價格を生ずるなり、即ち協定價格は一噸二〇〇乃至三〇〇馬克にして企業組合より高く、特
 にB生産物に於て然りとす。企業組合の運命は譬ひ重要視せられずと雖も、尙懸案の状態にあり。八月
 二日ロツテルダムよりの報道に據れば獨逸政府は該問題に干涉し企業組合をして現状のまゝ保留
 せしむへしと云へり、而して九月一日迄獨立販賣を施行すへからすとの布告を發せり。之と同時に政
 府は企業組合事務の再組織に關して八月二十日迄に其提案を受領すへき旨を布告せり。

ザールに於けるデイリッゲン製鐵會社の株式資本は戰前に於て總計八四二、〇〇〇磅にして獨逸
 株主に於て五八パーセント、佛國側に於て四二パーセントの範圍に於て所有せられたり。佛國に於て
 は戰時中之を沒收したれとも平和克復に際して前所有主に返戻せり、而して獨逸側の利益に關して
 之を佛國鐵鋼會社に併合せしむる商議は目下進行中なり。

鐵鋼の生産

鐵鋼生産組合は六月に於ける鐵鋼生産額を發表せり、之は本年前半期を完了せるものにして、ルク
 センブルグ及びヒローレンに於ける生産を除外せり。本年前半期間に於ける銑鐵生産額は左の如し。

	一九一六年	一九一七年	一九一八年	一九一九年
一 月	一、〇七八、三六八 <small>噸</small>	一、〇八二、七九七 <small>噸</small>	九三三、五七〇 <small>噸</small>	五〇一、二〇八 <small>噸</small>
二 月	一、〇三六、六八三	九四三、五四七	八〇二、七三三	四六九、二〇九
三 月	一、一一四、一九四	一、一〇四、六五三	一、〇三九、〇九二	五四五、九三九
四 月	一、〇七三、七〇六	一、一三一、六二〇	一、〇八四、六〇一	四三五、二四二

五月	一、二二二、五七四	一、二九八、一七一	一、二八四、七九四	五二四、九八六
六月	一、〇八一、五〇七	一、二二四、九九八	一、一八二、四一五	五二七、〇三五

六月に於ける鋼生産額は合計六四三、七八〇噸にして、五月は五九八、三七七噸なりき、而して一月以降六月迄の合計は三、四三〇、〇〇〇噸なり、壓延作業完成品の生産額は本年前半期に於て二、八七〇、〇〇〇噸なり。

會社近信

過去二箇年に於ける各會社の財政状態は次表の如し。

會社名	純益		普通株に於ける配當歩合	
	一九一七年	一九一八年	一九一七年	一九一八年
マキシミリアン製鐵會社	二一七、〇〇〇 <small>圓</small>	三六五、〇〇〇 <small>圓</small>	一五%	七%
フランクフルト製鐵會社	二五四、〇〇〇	二五三、〇〇〇	八	七
デヨン、アウグスブルグ會社	三七、〇〇〇	一六、〇〇〇	一一	八
デングラー機械會社	五六、〇〇〇	二五、〇〇〇	一二、五	六
ドレスデン壓延工作所	一七、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一二、五	九